

## 2019年度学校評価保護者アンケート 「自由記述欄」より

鶴川第三小学校長 剣持 明正

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

今回の保護者アンケートのご協力では、回収率が、90.0%となりました。昨年(89.4%)とほぼ同様の高い回収率に感謝いたします。集計結果に表れた状況を真摯に受け止め、本校の教育を改善して参りますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、学校評価の時期に限らず、本校の教育に対しての疑問やご意見等がありましたら、いつでも結構ですので、担任又は校長までご連絡頂ければ幸いです。

さて、保護者アンケートには「自由記述欄」を設けてあります。こちらにも、たくさんの回答を頂きました。

子供たちが輝いた学芸会終了後のアンケート実施でしたが、そのほとんどが、担任や教職員への感謝のお言葉であったり、行事や授業における取組への高評価であったりと、ありがたい限りです。また、改善へのご意見やご提案もありました。

このプリントでは、肯定的な評価のご意見は省略させていただき、改善に向けてのご意見をご紹介します。原文そのままの回答や、要約させていただいた回答もあります。要約については、ご意向がぼやけてしまうこともあるかと思われませんが、ご容赦ください。数々のご意見を、保護者の皆様と共有できればと思います。

また、現時点での校長としての回答または補足等を付け足しました。(※)で始まるところです。合わせてご参考にしていただけたらと思います。

### 【1年生】

○学習面での細かなところまでの指導が行き届いていないと感じます。えんぴつの持ち方や座る姿勢など、基本的なことと感じます。

(※) 鶴川地区の学校では、共通の指導内容として「鶴川スタンダード」という学習や生活上のお約束を数年前に決めました。そこには、細かい内容で、授業の受け方の基本や、生活上の決まり事を載せてあります。この鶴川スタンダードも、規定した当初は、すべての鶴川地区の小学校で意識して取り組んでいましたが、時が経つにつれ、それぞれの学校事情も変化し、形骸化しています。本校でも、この鶴川スタンダードの扱いについて問題ありと判断し、反省を踏まえて、本校独自に改めて見直しを進めています。後手に回り、保護者の皆様にはご心配をおかけしたこと、反省しております。

○学校公開では、授業に参加していないお子さんがいて、普段どの程度授業が成り立っているのか気になりました。

(※) 低学年では、様々な児童の特性が目立つ頃かと思えます。また、特別な配慮が必要な児童もおります。その中で、担任はすべての児童の成長を願いながら指導を行っています。時に、立ち歩く児童や、姿勢の保持ができない児童、目立ちたがりで落ち着かない児童等も見られると思いますが、そのほとんどの児童は、着実に成長しています。温かい目で見守っていただけることをお願いいたします。

○鶴二中との連携については具体的なものが浮かびません。

○小中の連携やいじめ・体罰等の現状など情報がないので、現状を知る機会がないと感じています。  
なお、開かれた学校については、学校全体で熱心に対応してくださっている印象を受けました。

(※) なかなか保護者の皆様にアピールできず、申し訳ありません。また、連携自体も充実していないのが現状でもあります。課題の一つでもあります。

○教科書の持ち帰る量が多く、ランドセルが重いようです。宿題など、家庭で使う分だけ数冊に減らしていただき、各自の机の中に置いてくるように見直してもらえると幸いです。

(※) 各学年とも配慮をしています。低学年の児童では、体力に個人差も大きいかと思われ  
ます。特別な状況であれば、ぜひ、担任にご相談ください。

○学級連絡網の配布をやめる方向で検討してほしい。メールを活用してほしい。

(※) 学級連絡網の配布は来年度より行いません。「すぐメール」を活用します。

○休み時間や登下校中に泣いている子を見たとか、車にぶつかりそうになる子を見たとか、いろい  
ろと話を聞きます。学校での把握はどうでしょうか。先生方が共有できているのか、対応を考え  
ているのか、ぜひ、対応できる体制をお願いしたいです。

(※) 登下校中の問題は、様々なことがあります。ケンカがあつたり、道路の危険な横断があ  
つたり、歩行のマナーが悪かつたり、落書きがあつたりと。ただ、それらの情報は、  
地域のご協力や、子供からの訴え等を通して、学校に入ってきます。後手にはなりま  
すが、都度、指導を行っている現状です。一般的な安全指導や、人権教育も引き続き  
行ってまいります。

○学校生活に慣れてきましたが、登校を渋ることも少なくありません。授業についていけない  
様子もうかがえます。宿題は積極的に取り組んでおりますが、内容が理解できていないことが  
多々見受けられます。家庭でも引き続きフォローをしていく必要があると思っております。

(※) 真摯に受け止めて、教員の授業力向上を図ってまいります。また、個別にご相談を頂  
けると、教員の対応もしやすくなると思います。ご協力をお願いいたします。

## 【2年生】

○体育の授業で赤白帽を忘れたとき（何度もだと困りますが）でも、授業を受けられるようにして  
ほしいです。

(※) 申し訳ありません。善処したいと思えます。

○遊ぶ時間を増やしてほしいです（子供の願い）。

(※) そうですね、遊ぶ「楽しさ」と同様に、授業も「楽しい」と感じさせることが大切で  
すね。楽しく感じる授業を実践させたいと思えます。

## 【3年生】

○小中連携については、具体例が思い浮かびません。何をしているのか、知りたいと感じました。

(※) なかなか保護者の皆様にアピールできず、申し訳ありません。また、連携自体も充実  
していないのが現状でもあります。課題の一つでもあります。

○「あいさつ当番」について子供と話したところ、児童の1割ぐらいの子しか、あいさつを返して  
くれないから、やっても意味ないし、自分もあいさつをしたい気持ちになれないと言っていまし  
た。5年生の姉も意味がないと言っていました。長女が入学する前は、校内・外で知らない児童  
もあいさつしてくれるが多く、鶴三小の子ってすごいなと感じたのを覚えています。近年は、  
見守りをしていてもあいさつが少ないと感じます。ちょっと残念です。

(※) ご指摘の通り、「あいさつ運動」の現状は、あまり効果の上がらない取組になっていると反省しているところです。形だけのあいさつ、気持ちの通うものにつながっていないあいさつ、答えてくれない児童への不満などなど、今、見直しが必要と検討を始めています。ご意見、ありがとうございます。

## 【4年生】

○普段の授業態度や授業の様子を知りたい。

(※) 学校公開・授業参観は、わずかの機会しかなく申し訳ありません。日常的な様子につきましては、個別にご相談頂ければご対応できると思います。

○いじめやかからかいの原因の一つに、発達に特性のある子を理解するための教育が不足しているように思います。文科省でも子供たちへ理解を深める取り組みがあるようです。友人の通う近隣の学校では、成果が出ていると聞きます。上の子が通っていた時から鶴三小での理解不足は、様々な場面で、様々な子で目にしていましたので、ぜひ、発達に特性のある子への理解を進める新たな教育をしていただきたいと思います。時間のかかることですが、ぜひ、よろしくお願いします。

(※) ご指摘、ありがとうございます。特効薬のような取組はなかなかないでしょうが、日々、教師が見本となって、やさしい心や集団における人間関係、協力や協調性、人権教育等、進めて参りたいと思います。

○4年生になってから、友達との小さなトラブルが増えたのかなと少し感じています。そういう年頃なのでしょうか。

(※) 年頃だと思います。高学年を目の前にして大人びた児童や、低学年を引きずった幼さの残る児童など、成長の個人差により、今までの関係と雰囲気異なってくる人間関係になりやすい頃かと思います。個人的にも、自己に対する肯定的な意識をもてず、劣等感を持ちやすくなる時期でもあります。子供なりに悩み多き時期を迎える頃と思われる。

○PTA会費の集金日前日の電話連絡網は不要と思います。

(※) 学級連絡網の配布は来年度より行いません。「すぐメール」を活用します。

○4年生になり、勉強が難しくなってきたので、特に、算数は復讐をしないと忘れていってしまうので、先取りの宿題よりも、復習をメインにできるものだと良いと感じています。

○本人の家庭学習時間が少ないのが原因ですが、学習については、1つの単元についての時間が少なく、理解できないまま次へ進んでしまっていると感じています。このまま学年が上がっていくのが不安です。

(※) ご家庭での悩みを受け止めたいと思います。着実な積み重ねが学習の基本となっています。既習事項を踏まえての新しい単元ですが、その既習事項の理解が十分であるかの確認も指導者にとって必要なことです。教師集団も研修を重ねて参りますが、お気付きなことやご相談があれば、ぜひ、早めにお伝えいただくとありがたいです。

## 【5年生】

○クラス替えを毎年していただきたい。理由は3つあります。①いろいろな友達と出会うチャンスを増やしたい。②いじめを未然に防ぐ。③現在のクラスに仲の良い友達がいなくても、毎年クラス替えをすることで、子供も心機一転できると思う。 ご検討をお願いします。

(※) ご意見、ありがとうございます。鶴川地区の学校でも、毎年全ての学年でクラス替えを行っている学校が増えてきています。本校でも、検討を重ねていますが、クラス替えをする・しないには、やはりそれぞれのメリットがあります。1年間共に過ごしたクラスで、もう1年、様々な行事や取組のやり直しができる機会、1年目を振り返りながら、もう1度、取り組むことができる機会は、児童にとっても貴重な2年間になると考えています。仲の良い・悪いの関係も変化します。長い期間で改めて培える・育まれる経験をもとにした関係も子供たちにとっては良い学習になります。担任が変わることはありますが、クラス集団は1年間の経験を踏まえて、さらに様々なことを学び、経験し、大きな成長が期待できる機会と考えます。いじめや仲間外れ等に関しては、教職員一同、未然防止に取り組みますが、もしご心配のことがあれば、早めにご相談ください。来年度は、2年周期のメリットを生かし、これまで通りのクラス替えを行います。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

○子供の発言から、周りに塾に行きだした子が増えていると感じ、そういう子の学習の理解が早いなあと実感しているようです。そんな中、算数の授業で、「塾に行ってもう知ってるかな」がベースでプリントに行ってしまうのが早くなった気がするのとチラッともらしていました。うちの子だけではないようです。仲良しの友達に教えてもらうなど、子供たちなりに対応して理解しようとしているようですが、このことについて、先生方にも気にかけていただけると助かります。

(※) 申し訳ありません。ご指摘、ありがとうございます。塾の学習がベースになるような指導はあってはならないことです。教員には周知して、善処したいと思います。

○アンケートは無記名でするものではないでしょうか。

(※) 本校では記名をしていただいています。アンケートから様々な情報を頂いていますが、中には、もう少し詳しくお話を聞く必要が生じる場合もあります。また、記名があることで、情報の背景が分かり、考察や対応をする上で大変助かる場合も多いです。ぜひ、ご理解頂きたく存じます。

○音読の課題で、社会の教科書や「保健だより」を出すのは良い。他教科も取り上げて良いと思う(親子の会話につながるから)。

(※) ご指摘、ありがとうございます。指導に役立てたいと存じます。

○「子どもまつり」を2月上旬前後にしないで欲しい。中学受験をする児童の負担から。

(※) 2月1日前後の中学校受験が終わり、ホッとしている時期として設定していました。ただ、今年度の場合の8日は、多少忙しさがありましたこと、申し訳ありません。来年度は、2月13日を予定しております。

○中学年、高学年になるにつれて、口の悪さが目立つ。

(※) 学校生活において気になる課題の一つです。今後も指導を続けてまいります。

○公園などで、自分の持ってきたお菓子のゴミは、持ち帰るように指導してほしい。

(※) 昨年度も同様のご意見を頂きました。なかなか公衆のマナーとして定着していないようです。校外学習時における指導に合わせて、今後も指導を続けてまいります。

○パソコン室のほこりの山を見て驚いた。一番パソコンには良くない環境であるし、そこで普通に授業している状況にがっかりしました。定期的に掃除をしていただきたい。

(※) ご指摘、ありがとうございます。対処して参ります。

○飼育しているうさぎ小屋、うさぎがいる様子だが、さみしい感じがする。かわいそうな感じがする。小屋をかわいらしく塗り直すや、子供たちがお世話をしてくれるような、いつも気になるような場所になるように、環境を良くしてあげて欲しい。

- うさぎ小屋が、もう少し見やすく、前を通る子供が声をかけられるような飼育小屋にならないかなあと思っています。
- 学校の花壇にお花がもっとあっても良いかなと思います。子供たちも、花の世話や手入れを日常的にできる環境があったら良いなと思いました。

(※) ウサギ小屋の老朽化は否めないところですが、飼育委員の児童の献身的な係活動で、今のクルミは、快適に生活しています。一番心配されるのは夏の暑さ対策です。今年も校舎に避難させた時期もありました。冬の寒さも厳しいときはあると思いますが、クルミなりに暖かな場所を探して寒さをしのいでいます。花壇においても、栽培委員会は定期的にお花が見られるように手入れをしています。飼育動物や植物は、低学年生活科や理科の中で、学習教材として位置づけられています。「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命を持っていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にするとともに、「継続的な飼育、栽培を行うようにすること」が学習指導要領で規定されています。授業で扱う以外は、児童の委員会で管理しています。

## 【6年生】

- 勉強(特に少人数算数)は、先生によって分かりやすさなどの差がとてもあるようです。子供が、「あの先生の教え方はぜんぜん分からない」という事があります。これでは差が出てしまうので、どうにかならないでしょうか。

(※) 申し訳ありません。教員の授業力向上と、教材研究の共有等で、少しでも、そのようなご心配が薄れるように努力してまいります。

- 配布されたアンケートのプリントに、「別紙の資料」とありますが、別紙とあるので、一緒に配布されたプリントがあるのかと、探してしまうこともありました。この別紙は、年度当初の「鶴三小の教育」という配布資料のことを指しているようですが、表現を直された方がよいのかなと思います。

(※) 申し訳ありません。確かに、「別紙の資料」は間違った表現でした。ご指摘の通り、年度当初の資料を指すつもりですが、一緒に配布されている別紙を探してしまう表現です。来年は気を付けて文章を作成したいと思います。ご迷惑をおかけしました。